

フブ・服部の中国通信

## 上有政策下有对策

### 「上に政策あれば下に対策あり」

中央政府などが、いかに理想を追求した政策を施行しようとも、民衆（又は地方政府）は、それを潜脱する方法を考え付いて、政策を骨抜きにするものである。

中国人民のしたたかさを指す言葉の一つですが、石材業界も例外ではありません。

主要どころの G654 シリーズでは最初に閉山した G654-1 長楽が再開したそうです。

早速特派員を派遣して調査させたところ



おー、掘っていますね。確かに～。

一時代を作った G654 だけにもっと大きな丁場を想像していましたが、確かに採掘しています。

盗掘の噂は聞いていましたが、ふつう盗掘だとここまでおおっぴらには掘れません。レールカッターが入っていますし・・・

特派員を通じ詳しく状況を突っ込んでみると、曰く「無許可採掘なのは以前と変わらない。ただし、地方政府も知っているが量も少ないので、と黙認している状態である」という事です。

そこに至るまでに何らかの「交渉」が持たれたのかもしれませんが、それは我々の計り知るところでは

ありません。実績ある石種が再開したというのは最近なかなか無い嬉しいニュースです。新しい G654 が無数に出てきている現状ですが、実績のない新しい石よりも、少々吸水はあるものの中細目の落ち着いた色目で難も少なく、実績十分な長楽は、お勧めしやすいという点で私にとってはとても良い石であると言えます。

(以前の G654 長楽)

(新しい G654 長楽)



特派員の撮影なので「**写真の撮り方が悪い!**」というようなクレームについてはご容赦くださいませ。

色目は以前の石と比べても大きな変動は無さそうです。なにぶん採掘の規模が大きいので大材についてはご確認いただきたいのですが、8寸9寸といった製品でしたら問題なくお受けすることが出来るそうです。

サンプル請求等は弊社営業員までお申し付けくださいませ!

## ウェアラブル端末最新事情

お口直しに中国の最新ニュースを一つ。

スマートウォッチ等に代表される、今話題の身につける電子機器、ウェアラブル端末につき、中国からホットな最新情報が届いておりますのでお知らせします。



**なんとという斬新なデザインでしょう。無数の iPhone をお腹や太股に巻きつけ、腹巻やサポーターのようにしているではありませんか!**

…えー、何かと申しますと、「2015年1月11日、中国広東省深センの税関当局は、米アップル社のスマートフォン iPhone6 と iPhone5S の計 94 台を体に巻きつけて香港から中国に持ち込もうとした男を摘発した」と 12 日付で人民網が伝えた。との事です(笑)

現地税関によると、この男は密輸業者の「運び屋」だそうで、中国のインターネットユーザーからは

「業者の運び屋にしてはレベルが低すぎる」

「運び屋のクールなイメージが台無し」

など手厳しい意見が相次いでおりました。

ちなみに iPhone6 は、現在日本国内で入手が困難になっております。A、D、S の大手三社経由で購入する事は可能ですが、それらはすべて携帯会社の紐付き（SIM ロック版）で、中国国内で使用できる SIM ロックフリー版となると購入が出来なくなっており、原因と今後の展望をアップルに問い合わせても明確な返答が出来ないようです。

16GB <sup>1</sup> ¥75,800 (税別) 出荷予定日: 注文できません	64GB <sup>1</sup> ¥87,800 (税別) 出荷予定日: 注文できません	128GB <sup>1</sup> ¥99,800 (税別) 出荷予定日: 注文できません
--	--	---



憶測ですが、日本では SIM ロックフリー版はそこまで浸透しておらず、大手三社が発売を決定した以上、それらの圧力に抵抗してまで転売等の問題をはらむ上に、そこまで市場の無い SIM ロックフリー版を無理に日本で販売するのは得策ではない、と考えたのではないのでしょうか。

ご興味があれば一度ヤフーオークションなどのサイトをご覧ください。税込み 95,000 円程度の 64GB モデルが 12 万円近い値段で売られています。希少価値でプレミアもついているのでしょね

こういう事情もあり、上記の彼のような人物により一層の商機が生まれるという事情のようです。

さて、今月はこのあたりにさせていただきますが、来月はいよいよ旧正月、今年は直前の阿鼻叫喚実況中継が出来なさそうですが、また前後の展望について現地で取材してこようと思っております。

期間中は我々も仕事にならず、ご迷惑をおかけいたしますが、可能な限り迅速な通常業務の復旧を中国側にも強く働きかけてまいりますので、何卒ご寛恕いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

それではまた来月お会いしましょう。再見。

2015年2月 服部